

## 第24章 地域別の概要

### 1. メキシコの地域分類

地理的にはメキシコは北西部、北東部、中西部、中央部、南部に分けられる。最も人口が集中しているエリアは中央部で、メキシコシティと周辺6州を合わせた人口は総人口の約3分の1を占める4,155万人である。

図表 24-1 人口（2020年）と面積

地域	州名	面積		人口	
		(km <sup>2</sup> )	構成比	(人)	構成比
北西部	バハ・カリフォルニア州	71,450.0	3.6%	3,769,020	3.0%
	バハ・カリフォルニア・スル州	73,909.4	3.8%	798,447	0.6%
	シナロア州	57,365.4	2.9%	3,026,943	2.4%
	ソノラ州	179,354.7	9.1%	2,944,840	2.3%
北東部	チワワ州	247,412.6	12.6%	3,741,869	3.0%
	コアウイラ州	151,594.8	7.7%	3,146,771	2.5%
	ドゥランゴ州	123,364.0	6.3%	1,832,650	1.5%
	ヌエボ・レオン州	64,156.2	3.3%	5,784,442	4.6%
	タマウリパス州	80,249.3	4.1%	3,527,735	2.8%
中西部	アグアスカリエンテス州	5,615.7	0.3%	1,425,607	1.1%
	コリマ州	5,626.9	0.3%	731,391	0.6%
	グアナファト州	30,606.7	1.6%	6,166,934	4.9%
	ハリスコ州	78,595.9	4.0%	8,348,151	6.6%
	ミチョアカン州	58,598.7	3.0%	4,748,846	3.8%
	ナヤリット州	27,856.5	1.4%	1,235,456	1.0%
	サン・ルイス・ポトシ州	61,138.0	3.1%	2,822,255	2.2%
	サカテカス州	75,275.3	3.8%	1,622,138	1.3%
中央部	メキシコシティ	1,494.3	0.1%	9,209,944	7.3%
	イダルゴ州	20,821.4	1.1%	3,082,841	2.4%
	メキシコ州	22,351.8	1.1%	16,992,418	13.5%
	モレロス州	4,878.9	0.2%	1,971,520	1.6%
	プエブラ州	34,309.6	1.7%	6,583,278	5.2%
	ケレタロ州	11,690.6	0.6%	2,368,467	1.9%
	トラスカラ州	3,996.6	0.2%	1,342,977	1.1%
南部	カンペチェ州	57,484.9	2.9%	928,363	0.7%
	チアパス州	73,311.0	3.7%	5,543,828	4.4%
	ゲレーロ州	63,595.9	3.2%	3,540,685	2.8%
	オアハカ州	93,757.6	4.8%	4,132,148	3.3%
	キンタナ・ロー州	44,705.2	2.3%	1,857,985	1.5%
	タバスコ州	24,730.9	1.3%	2,402,598	1.9%
	ベラクルス州	71,823.5	3.7%	8,062,579	6.4%
	ユカタン州	39,524.4	2.0%	2,320,898	1.8%
全国		1,960,647	100.0%	126,014,024	100%

(出所) INEGI より作成

## 2. 地域別の経済動向

## (1) 地域別の1人あたりGDP

メキシコにおいてGDPが最も高い州はメキシコシティであり、メキシコ州、ヌエボ・レオン州が続く。1人あたりGDPを見ると、油田群を有するカンペチェ州が突出しており、次いでメキシコシティ、ヌエボ・レオン州が続いている。

図表 24-2 州別のGDP（2021年）と1人あたりGDP

地域	州名	GDP (100万ペソ)	人口 (人)	1人あたりGDP (ペソ)
北西部	バハ・カリフォルニア州	923,218	3,769,020	244,949
	バハ・カリフォルニア・スル州	212,813	798,447	266,533
	シナロア州	561,553	3,026,943	185,518
	ソノラ州	891,434	2,944,840	302,711
北東部	チワワ州	878,625	3,741,869	234,809
	コアウイラ州	901,801	3,146,771	286,580
	ドゥランゴ州	301,207	1,832,650	164,356
	ヌエボ・レオン州	2,016,768	5,784,442	348,654
	タマウリパス州	717,585	3,527,735	203,412
中西部	アグアスカリエンテス州	318,347	1,425,607	223,306
	コリマ州	145,781	731,391	199,320
	グアナファト州	1,029,274	6,166,934	166,902
	ハリスコ州	388,748	8,348,151	46,567
	ミチョアカン州	596,442	4,748,846	125,597
	ナヤリット州	173,938	1,235,456	140,788
	サン・ルイス・ポトシ州	562,564	2,822,255	199,331
	サカテカス州	234,552	1,622,138	144,594
中央部	メキシコシティ	3,701,686	9,209,944	401,923
	イダルゴ州	388,748	3,082,841	126,100
	メキシコ州	2,212,972	16,992,418	130,233
	モレロス州	258,640	1,971,520	131,188
	プエブラ州	759,807	6,583,278	115,415
	ケレタロ州	554,928	2,368,467	234,298
	トラスカラ州	136,257	1,342,977	101,459
	カンペチェ州	483,398	928,363	520,700
南部	チアパス州	379,227	5,543,828	68,405
	ゲレーロ州	330,937	3,540,685	93,467
	オアハカ州	394,292	4,132,148	95,421
	キンタナ・ロー州	353,445	1,857,985	190,230
	タバスコ州	592,959	2,402,598	246,799
	ベラクルス州	1,075,630	8,062,579	133,410
	ユカタン州	376,869	2,320,898	162,381
	全国	22,854,445	126,014,024	181,364

(注) 1人あたりGDPは、GDP（2021年）を人口（2020年）で割って算出している。

(出所) INEGIより作成

## (2) 地域別の GDP 構成比

GDP の産業別構成比を見ると、メキシコシティでは第三次産業の割合が特に高く 89.4%となっている。また、カンペチェ州は第二次産業の割合が 76.0%とほかの州に比べて突出している。なお、第一次産業の割合が比較的高い州は、ミチョアカン州（16.0%）とシナロア州（14.0%）である。

図表 24-3 州別の GDP（2021 年）と産業別割合

地域	州名	GDP (100 万ペソ)	第一次産業 (%)	第二次産業 (%)	第三次産業 (%)
北西部	バハ・カリフォルニア州	923,218	2.4%	45.2%	52.4%
	バハ・カリフォルニア・スル州	212,813	4.3%	27.1%	68.6%
	シナロア州	561,553	14.0%	21.2%	64.8%
	ソノラ州	891,434	6.8%	50.1%	43.1%
北東部	チワワ州	878,625	7.4%	44.5%	48.1%
	コアウイラ州	901,801	2.4%	55.3%	42.3%
	ドゥランゴ州	301,207	10.3%	32.9%	56.8%
	ヌエボ・レオン州	2,016,768	0.5%	41.7%	57.7%
	タマウリバス州	717,585	3.2%	39.4%	57.4%
中西部	アグアスカリエンテス州	318,347	4.8%	45.0%	50.2%
	コリマ州	145,781	6.3%	24.3%	69.4%
	グアナファト州	1,029,274	5.3%	39.1%	55.6%
	ハリスコ州	1,759,742	7.5%	30.4%	62.0%
	ミチョアカン州	596,442	16.0%	16.7%	67.3%
	ナヤリット州	173,938	10.4%	21.5%	68.1%
	サン・ルイス・ポトシ州	562,564	5.1%	44.2%	50.7%
	サカテカス州	234,552	10.4%	37.5%	52.2%
中央部	メキシコシティ	3,701,686	0.0%	10.5%	89.4%
	イダルゴ州	388,748	3.4%	35.9%	60.7%
	メキシコ州	2,212,972	1.5%	25.8%	72.7%
	モレロス州	258,640	3.9%	32.7%	63.3%
	プエブラ州	759,807	4.4%	35.7%	59.9%
	ケレタロ州	554,928	2.7%	42.4%	54.9%
	トラスカラ州	136,257	3.1%	36.3%	60.6%
	カンペチェ州	483,398	2.2%	76.0%	21.8%
南部	チアパス州	379,227	7.7%	18.7%	73.6%
	ゲレーロ州	330,937	6.2%	21.5%	72.2%
	オアハカ州	394,292	7.5%	32.1%	60.4%
	キンタナ・ロー州	353,445	1.2%	13.1%	85.7%
	タバスコ州	592,959	2.1%	57.8%	40.2%
	ベラクルス州	1,075,630	6.5%	31.0%	62.5%
	ユカタン州	376,869	4.5%	29.4%	66.1%
	全国	22,854,445	3.9%	33.1%	63.1%

(出所) INEGI より作成

## 3. 近年の地域別投資動向

外国直接投資額を見ると、メキシコシティが10,923百万ドルで最も多く全体の31%を占めており、次いでヌエボ・レオン州が4,397百万ドルで12.5%を占めている。地域別に見ると、中央部が42.7%と最も多く、南部が4.5%と最も少ない。

図表 24-4 州別の外国直接投資額 (FDI) (2022年)

地域	州名	外国直接投資額(100万ドル)	構成比 (%)	地域別	構成比 (%)
北西部	バハ・カリフォルニア州	1,877.3	5.3%	3,871.20	11.0%
	バハ・カリフォルニア・スル州	668.1	1.9%		
	シナロア州	866.9	2.5%		
	ソノラ州	458.9	1.3%		
北東部	チワワ州	1,875.9	5.3%	8,613.60	24.4%
	コアウイラ州	792.4	2.2%		
	ドゥランゴ州	565.5	1.6%		
	ヌエボ・レオン州	4,397.3	12.5%		
	タマウリパス州	982.5	2.8%		
中西部	アグアスカリエンテス州	594.9	1.7%	6,152.60	17.4%
	コリマ州	96.9	0.3%		
	グアナファト州	1,564.5	4.4%		
	ハリスコ州	2,894.9	8.2%		
	ミチョアカン州	165.7	0.5%		
	ナヤリット州	452.0	1.3%		
	サン・ルイス・ポトシ州	376.4	1.1%		
	サカテカス州	7.3	0.0%		
中央部	メキシコシティ	10,923.3	31.0%	15,056.30	42.7%
	イダルゴ州	410.5	1.2%		
	メキシコ州	1,805.9	5.1%		
	モレロス州	89.8	0.3%		
	プエブラ州	798.1	2.3%		
	ケレタロ州	753.2	2.1%		
	トラスカラ州	275.5	0.8%		
	カンペチェ州	40.4	0.1%		
南部	チアパス州	186.8	0.5%	1,597.90	4.5%
	ゲレーロ州	245.5	0.7%		
	オアハカ州	151.1	0.4%		
	キンタナ・ロー州	416.2	1.2%		
	タバスコ州	21.9	0.1%		
	ベラクルス州	0.1	0.0%		
	ユカタン州	535.9	1.5%		
	全国	35,291.60	100%		

(出所) メキシコ政府公表資料より作成

メキシコに進出済みの日系企業を業種別に見ると、製造業が最も多く 687 社と全体の約 54%を占めている。次いで、卸売業・小売業が 267 社 (21.0%)、運輸業・郵便業が 94 社 (7.4%) と続いている。

図表 24-5 地域別に見た日系進出企業の業種別内訳 (社)

業種	在メキシコ 大使館	在レオン 総領事館	全地域
農業、林業	1	0	1
漁業	1	0	1
鉱業、採石業、砂利採集業	4	0	4
建設業	3	15	18
製造業	276	411	687
電気・ガス・熱供給・水道業	23	1	24
情報通信業	2	4	6
運輸業、郵便業	38	56	94
卸売業、小売業	159	108	267
金融業、保険業	16	7	23
不動産業、物品賃貸業	1	4	5
学術研究、専門・技術サービス業	14	5	19
宿泊業、飲食サービス業	27	6	33
生活関連サービス業、娯楽業	2	1	3
教育事業、学習支援業	3	0	3
医療、福祉	4	3	7
サービス業 (ほかに分類されないもの)	36	29	65
分類不能の産業	2	2	4
区分不明	0	8	8
全業種	612	660	1,272

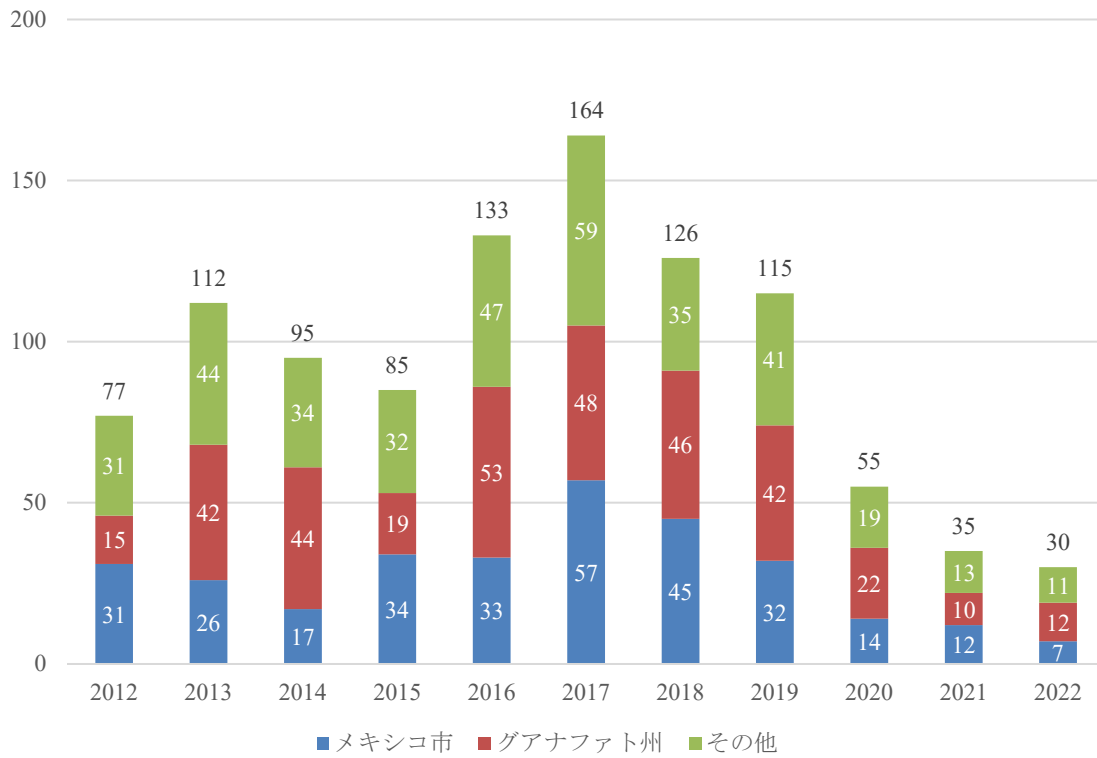
(出所) 外務省海外在留邦人数調査統計 (2022 年) より作成

#### 4. 地域別の治安

日本では、「メキシコ＝危険」というイメージが定着している。地域によって差はあるものの、非常に危険な地域も存在するため、十分な注意が必要である。多くの邦人が居住するメキシコシティやグアナファト州でも犯罪件数は多い。

2019 年における在メキシコ日本国大使館及び在レオン日本国総領事館に届けられた邦人の犯罪被害件数は 115 件であったが、2020 年以降は新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあって一時的に減少しており、2022 年は 30 件となっている。外務省の危険情報 (2023 年 12 月時点) によれば、一部の地域において「渡航中止勧告」もしくは「不要不急の渡航中止」とされていることから、引き続き現地においては十分な注意が必要である。

図表 24-6 在メキシコ日本国大使館及び在レオン日本国総領事館に届けられた邦人の犯罪被害件数の推移（件）



（出所）在メキシコ日本国大使館資料より作成

## 5. 工業団地の分布

図表 24-7 主要工業団地の分布



(出所) メキシコ工業団地協会 (AMPIP) より作成